



昭和30年頃



都立石神井高校
同窓会広報誌

「きずな」
第65号

2016年7月発行

もくじ



昭和20年代体育祭

(写真提供：高味祐さん／高1期)

65年の間 体育祭を見守り続ける 「青山杯(せいざんはい)」



石神井高校は、昭和15年（1940年）、青山師範学校が移転した跡地（現青山高校の場所）に東京府立第十四中学校として誕生し一期生を迎えました。そして昭和17年6月8日に現在の武蔵関に移転。校名も府立石神井中学校、都立石神井中学校と変わり、昭和25年に「都立石神井高校」となりました。

昭和26年（1951年）頃の体育祭で、一期生の会「青山会」の代表お二人が後輩たちの活躍を願って美しい優勝杯を贈ってくださいました。時の体育祭委員たちは、プログラムの最終競技、スウェーデンリレーの勝者に渡すことを決め、この杯を「青山杯（せいざんはい）」と命名しました。この競技は第一走者100m、第二走者200m、第三走者300m、アンカーが400mを走るリレーで、各団ともにこの競技に勝つことが最高の榮譽としています。

以来65年。「青山杯」はそのままの姿で生徒の汗と涙を見守り続けています。

定期総会・懇親会のご案内	表紙 P 1
ご挨拶	P 2
同窓会の輪、教職員の見聞	P 4
幹事会よりご報告	P 5
卒業生ラグビー対談	P 6
投稿	P 8
OB O G 会	P 16
総会議案資料	P 18
東京校歌祭・事務局便り	P 21
母校 T O P I X	P 22
裏表紙	P 22

2016年度定期総会と懇親会のご案内

【日時】2016年9月24日（土） 13:00～ 定期総会／14:00～ 懇親会

【会場】総会：母校4階視聴覚室「黒菱ホール」／懇親会：母校1階カフェテリア

【懇親会参加費】1,000円（64～68期生は無料）

懇親会では石吹OBと現役生とのコラボ演奏などを予定。

懇親会からの参加も歓迎です。ご家族、同期、部活メンバーを誘ってどうぞ。

◆若い世代の同期会を補助します…64期より若い方が懇親会出席の後に同期会を開催の場合、同窓会から補助をしますのでご連絡ください。20名以上の同期会に2万円補助いたします。

「文武両道」の「二道」両立のために

校長 武田 一郎



私は高校時代、大田区の狭い校庭でラグビーに励んでいましたが、当時から石神井高校の広々としたグラウンドで伸び伸びとボールを追いかけている生徒の姿に羨ましさを感じていたものです。その石神井高校に校長として赴任したことは奇遇であり感動感激です。

「スポーツの石神井」と言われていることは以前より聞いていましたが、前任の川嶋校長先生から真の「文武両道」を目指すという精神も引き継いでいます。

私自身「文武両道」の「二道」両立の追求が、とくに十代において「人間作り」に欠かせない要素だと考え、実践してきました。高校を卒業して大学人、社会人になるための基礎がこの「二道」の両立であると考えています。そして、この「二道」両立に欠かせないのが社会人

基礎力といわれる「アクション」「シンキング」「チームワーク」ではないでしょうか。前に出る積極的な取り組み方が「アクション」。何事によらず疑問を持ち、課題を明らかにするなどの考え抜く力が「シンキング」です。そして、周囲の人たちと目標に向かって協力する力、「チームワーク」を持ってこそ「二道」両立につながるものと考えています。

今年度より「チーム石神井」というキーワードのもと、学校全体が元気になれるように一人一人が、またそれぞれの部活同士が、生徒や先生がお互いに協力し合い元気な石神井高校を作っていこうと取り組み始めました。このチームとは生徒、教職員に限らず、保護者、地域社会、同窓生が知恵を出し合い、力を結集して、様々な「文武」の目標達成に向かって突き進む姿をイメージしています。

これらのことから卒業生、同窓会には温かい目で見守っていただきたいと思います。どうぞ「チーム石神井」の一員としての応援をよろしくお願いいたします。

「新生石神井」のさらなる発展へ

副校長 福田 洋三



石神井高校に着任して2年目が始まりしました。本校は、私にとって8校目の勤務校ですが、卒業生の母校への思い入れや同窓会と学校との結びつきがその中で最も深く強いと感じます。現在、卒業生の教員が4名いて、皆生徒にとって良い先輩であり、一教師の言葉より先輩教師の言葉は、重みがあります。私が、石神井高校に務めていると話すと、すぐ石神井の卒業生ですとか、兄弟や身内に石神井出身がいますと返されることも多く、副校長会の研究協議会で北海道に行ったときも、卒業生の北海道の副校長先生にお世話になりました。

平成25年度入学生から制服着用となり、本校の輝ける伝統の中で「新生石神井」1期生となった68期生は、国公立大学、GMARCHの合格者数が増え、立派な進路実績を残しました。現役だけでなく、既卒業生も健闘し、東京工業大学にも合格しました。いま、本校は、体育祭の応援など良き伝統を引き継ぎ、改革や変革の過渡期を乗り越え、落ち着いた学習環境、盛んな行事と部活動、自ら気持ちよく挨拶をしてくれる生徒があふれています。

新しい校長先生が着任され、『「チーム石神井」で文武二道の両立を！』を標語として、本校のさらなる発展に努めて参ります。同窓会の皆様の本校への日頃の御支援に感謝いたしますとともに、今年度も本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

内外に校名PRして存在感を高める

経営企画室長 小西 直子



経営企画室の仕事は与えられた役割、使命を淡々とこなす地味な仕事だと考えていましたが、今年はそんなノンビリした気分ではいられない

ようです。

プールのラインが見えなくなったので塗装し直す工事に始まり、グラウンドの改修に際しての測量、設計などもあり、授業や部活動との折り合いをどう付けるか目下、色々な悩みを抱えている次第です。

念願であった懸垂幕昇降機が設置されたので、同窓会から寄贈していただいた大きな「懸垂幕」に「祝〇〇部、〇〇大会出場」などの校威高揚文句を掲げ、内外に大いにPRするのも私達の仕事です。

そして、今年は新青梅街道から見える場所に「校章」と「石神井高校」の大きな文字の入った看板を掲げ、街道を行き来する人々にも覚えていただき、親近感を持っていただけるような計画もあります。

「文武」の実力を養うことに専念する生徒への励みとなるこのような「知名度の向上」も大切なことと職務に取り組んでいる毎日です。

同期幹事の登録と同期会Homecoming Dayを是非開催してください

同窓会会長 大久保 利一



昨年のご挨拶で同期会の開催をお願いしました。私は1965年に卒業しましたので、昨春秋に卒業50周年の同期会を実施しました。数年に一度は同期会を実施し

てきましたが、これらにも参加できない方もおり、大変懐かしい人も集まりました。

私の同期には、某大学の学長をしている者、体育系部活のOB会長をしている者などがおり、石神井高校への協力を厭わないと言ってくれる者もいます。同期会から同窓会や学校への協力を引き出せる場合

が幾つかの方々からご提案されています。皆さんも同期会を是非開催して旧友との親交を深めてください。その際には是非学校に帰って今の学校の状態を見てください。

校舎は数年前の改築で大変きれいになりました。しかしながら都立高校でトップクラスの広さを誇る校庭は昔の雰囲気も残っており懐かしい部分もあります。

同窓会では、同窓会総会に合わせてHomecoming Dayの形で同期会を実施していただくことを推奨しています。また、各期の幹事の方は同窓会の幹事会のメンバーに登録していただくをお願いしています。幹事会の活性化により同窓会を一層活性化していただくようお願い申し上げたいと思っております。

同窓会の輪（同窓会連絡協議会）の状況

会長 大久保 利一

本年度は、二回の会合を持ちました。一回目は現役在校生への直接的な支援の方法などの情報を交換しました。二回目は同窓会を法人化している同窓会があり、それらの背景と、メリット／デメリットなどの情報交換を行いました。石神井高校同窓会は在校生への直接的な支援については、皆様からの寄付金を基金とした教育支援基金から、毎年学校、生徒からの要望を受けて毎年定例的な支援、イベント対応の支援などを実施してきました。他校では他に育英基金を設けて奨学金などを

提供しているところも幾つかあるようです。同窓会はこれまで一般的には任意団体として活動をしているところが多く、石神井高校同窓会も任意団体として活動しています。法人化の動機は、多くの場合校外施設などの資産を同窓会が持っている場合に、これらの管理を行う際の責任主体の明確化にあるようです。同窓会もこれらの情報交換から得られた背景を踏まえてこれからも、検討を進めていきます。

教職員の異動（平成28年度）

転出者

教科	氏名	転出先等
校長（保健体育）	川嶋 直司	調布北高校（非常勤）
国語（非常勤）	山川 裕子	退職（8.31.）
理科（化学）	谷川 直	板橋高校
保健体育	中馬喜久子	武蔵丘高校（非常勤）
保健体育	堀家 靖彦	田無高校
音楽	片野 響子	神代高校
英語	影山 司	飛鳥高校
養護	二木由加里	第五商業高校
経営補佐	小澤 時男	退職
理科実習（非常勤）	松本 隆	退職（9.25.）
学校司書	新田 宣子	退職
企画室	彌川さおり	農芸高校

転入者

職名・教科	氏名	前任校等
校長（保健体育）	武田 一郎	鷺宮高校（副校長）
理科（化学）	橋本 輝夫	田園調布高校
保健体育	神之田順子	東村山高校
保健体育	山崎 慎介	鷺宮高校
音楽	佐々木富美子	新規採用
英語	富士 健太	新規採用
養護	澤 恵子	清瀬高校
理科実習（非常勤）	加藤 恵樹	都内小学校
企画室	藤木 絢子	教育庁都立学校教育部

母校の最新情報は、「石神井高校HP」で

<http://shakujii-h.sakura.ne.jp>



幹事会よりご報告

幹事長 高尾 宏一 (高25期)

名前負けして、ほとんど貢献できていない幹事長からの報告です。

去る3月26日(土)昼に、石神井倶楽部(「あおしま青山店」内)に於いて、平成27年度(28年3月)卒業(高校68期)の新幹事を歓迎する食事が開催されました。当初の予定より数名少なくなりましたが、新幹事7名を迎え総勢15名での開催でした。新幹事は高校を卒業したばかりですので、当然アルコール抜き。迎える側の同窓会会長を始めとする諸先輩方には少々物足りないドリンクメニューだったかもしれませんが、アルコール抜きでも、世代を超えたとても充実した会になりました。(…当然のことながら、アルコールは二次会で十分補充されたと推察いたします)。

幹事の名簿も整いつつありますから近い将来に幹事会が開けるかも知れませんが、何しろ高校だけでも68期ありますので全員が集合するには少々大変です。同窓会総会などを活用してできるだけ多くの幹事が集まれるよう工夫したいと思います。

幹事の仕事のうち重要なものは、同窓会とそれぞれの同期生との間を繋ぐ橋渡し役ではないかと思っています。各期ごとに同期会やクラブ活動OB会などの報告などが「きずな」に載っていますが、人生の節目毎に同期で集まりたいという希望がありましたら、同窓会のイベントのみならず、「ウェブきずな」も含め同窓会そのものをご利用いただきたく思います。

幹事会メールアドレス kanjikai.shakujii.high@gmail.com

・ウェブきずな <http://www.shakujii-club.gr.jp/>

・きずなメール shakujii.kizuna@gmail.com

＝「幹事会」は各期選出の幹事から構成され、同窓会運営の支援、世代間交流、役員会への提言などを行う組織です＝



68期幹事と同窓会役員

役員出席者:大久保会長、高尾幹事長、廣瀬監査(現石神井高校教諭)、久保内副会長、上野会計担当、荒川副会長、栗山監査、勝見副会長

🏈 卒業生ラガー対談

ラグビーあってこそその人生！年を喰ってもラグビーだ

「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の開催を控え、石神井卒業生のラガーたちも燃えています。今回はそんなOBラガーお二人にご登場いただきました。

●下井真介さん（高28期）：日本ラグビーフットボール協会公認A級レフリー、杉並区立桃井第三小学校副校長

●北川 洋さん（高33期）：ヤマハ発動機ラグビー部 部長（PF車両開発統括部車両実験部 部長）

自信がついた対南ア戦

北川 あのラグビー南アフリカ戦ですが、私はあの日、現地で観戦していました。これまで体力差から赤子のように扱われていたのが、互角とまでは行かなくても、立派に戦っていると確かな手応を感じていました。

勝利の瞬間の会場の雰囲気は賞賛に満ちておりとても誇らしく感じました。会場からの帰路何人もの英国人から『おめでとう』と声を掛けられたことも忘れえぬ思い出です。

下井 私はあの日中学生全国大会会場に

いてラグビーのレフリーを努めていましたが、夜はレフリー仲間とテレビ観戦していました。あの逆転トライの時には、自分の目が涙でにじんでいたことを覚えています。奇跡ではなく、あの一瞬に命を懸けたジャパンのメンバーに感謝したいと思います。中学生大会の次の日は、あの試合を意識したプレーが多かったような気がしました。

（笑）子ども達に与えた影響はとても大きく未来のプレーヤーにも感動を与えました。

北川 父がラグビー好きで子供の頃から見ていたので私もラグビー好きになりました。高校ではラグビー部に入ろうかとも考えましたが、バレー部の先輩が小中も同じで、しかもポジションまで同じ上、同じく中学でキャプテンだったこともあり、バレー部に入部しました。大学でラグビー部に入ってやっと夢を叶えたことになります。当時は兎に角 男らしいスポーツであること、身体

をぶつけ合えることが魅力でした。先輩はいかがでしたか。

下井 石神井の新入生クラブ見学の時、「怖そうな先輩」が近寄ってきて、「君、いい体してるね！」と甘い声をかけられたのがラグビー部員でした。翌日にはジャージ姿でグラウンドにいました。勧誘時の甘い言葉とは全く違う苦しい練習が続きました。ルールもわからないのに、先輩の試合を見てみると、何か魅力を感じ、ついにはまってしまいました。ボールを持ったら、ゴールラインを目指して、走ること。相手がきたら、倒されないように、相手に勝って、前に進めばいい！仲間を

信じて、プレーすることの魅力を感じました。

現役時代の思い出ですが、私は高校3年で関東大会に初出場したこと。大学の時に、名古屋の瑞穂ラグビー場でプレーしたこと。ポジションはフルバック。しかもプレースキック

を担当。PG成功！五郎丸ポーズで！？

北川 ヤマハララグビー部は静岡でも中位の実力でしたが。強化が決まり、若い選手が入部し当時の大学の有名選手も何人か入部して勝ち取った静岡県の優勝や国体予選で他県の有力チームと対戦したことです。

高校時代は部活中心の生活

下井 石神井時代の思い出はいかがですか。

北川 難しい質問です。高校生生活全てが思い出です。でも、その基盤にあるのはクラブ活動（バレー部）と体育祭、文化祭でしょうか？

下井 高校時代はラグビー中心の生活で体育祭は春の大会と重なり、各団の活動には参加できませんでした。授業では、やっぱり「ガントレ」です。今、考えると高校の体育の授業として、どうなのか？って、考えることもありましたが。



下井真介氏 北川 洋氏

その他の方・左から：山村智昭氏（高30期ラグビー部OB）、小島照夫氏（高18期／慶応JSKSクラブOB／YCAC高校セブンス世話人）、野口友輔先生（石神井高校ラグビー部顧問／日本体育協会公認強化コーチ／平成24・25年度オール東京U18監督）

とにかくラグビーとの出会ったことが石神井の最大の収穫です。石神井に入学していなかったら、ラグビーをやっていたか分かりません。当然レフリーなんて考えられなかったと思います。

北川 私は石神井の友達との出会いが何と言っても財産です。ちょっとバンカラで自由と自律があった校風も肌に合っていたのでしょう。バレー部の同級生とは今でも年に何回か会う機会があります。同期生とも最近交流があります。SNSは本当にありがたいです。

下井 ラグビー部OB会には出席していましたが、クラス会はいつも正月だったので欠席続きでした。クラス会では皆が、「正月はレフリーがあるから下井は欠席だよな。」って言っていたようです。

仕事とラグビーの両立目指して

北川 仕事とラグビーの比率はいかがですか。私はオートバイ開発時に行う車両系試験の部門長を拝命して、170名ほどの部員のマネジメントに取り組んでいます。時間配分ではラグビーは1～2割程です。職場は技術系でありながら、風土は体育会系なので、クラブ活動での経験が役に立っています。

下井 昨年4月から副校長になりましたが、それまではずっと担任で、比較的、自分の時間を作り、トップレフリーの活動を20年間続けてきました。管理職になってもなんとかやり繰りして、今もホイッスル吹いています。日曜日にレフリーが終わ

ってから、学校に行き仕事をすることもあります。「走る副校長！」目指して頑張ります！

石神井でラグビーと出会わなければ、レフリーの道もありませんでした。五郎丸選手が話題になりましたが、彼が大学の時、何回も笛を吹き、ヤマハでも吹きました。レフリーを通して、人との関わりが広がり、自分にとって幸せな時間を過ごすことができました。ジュニアの試合では元選手のお子さんがプレーをしています。そのレフリーをやっていると、その元選手が「下井さん！まだやってるの？」と声をかけてくれます。とても嬉しい瞬間です。これからもレフリーも続け、若手育成もしながら何らかの形でラグビーの発展に少しでもお役にたてたら、と思います。

北川 石神井では自分で考え、行動し結果にも責任を持つということ、そして目標を持ち、自分を信じ、仲間を信じ、感謝の気持ちを忘れないことを学んだようです。直ぐに結果は出なくても、その努力は人生の糧になり必ずやその努力が報われる日が来ます。ラグビーは五郎丸のように華やかなポジションだけではなく、ひたすらタックルしたりスクラムを組む役割、ポジションが必要です。自己犠牲に上に成果が出てくるラグビーというスポーツの魅力を少しでも多くの人に知っていただければと思い、トップチームの運営に関わっています。

(取材：2016年3月12日／編集：高13期Y.N)



石神井の「YCAC高校セブンス」大会出場を応援

小島 照夫さん(高18期)

テレビ番組「青春とはなんだ」を見てラグビーに憧れたものの、石神井にラグビー部がなく、慶応に入学してからラグビー同好会(慶応J S K S)に入り、ラグビー一色の生活をしてきました。このラグビーの素晴らしさを高校生に知ってもらいたく「YCAC高校セブンス」の手伝いをしていたところ、第5回大会に石神井が出場することを知り、母校との偶然の再会に感動したものです。

「YCAC高校セブンス」は、日本のラグビー史に名を刻む伝統のある横浜カントリー&アスレ

ティッククラブが大泉高校、日比谷高校、小石川高校、青山高校、湘南高校など伝統のある文武両道の公立高校を中心に招待する大会です。石神井がこのセブンスに継続して出場して欲しい一心から同窓会にお願いし、大会出場費用の支援が実現したことに感謝申し上げます。お蔭様で、石神井は第8回まで連続4回出場を果たし、昨年は優勝、今年は連覇こそ逃したものの準優勝を果たしてくれました。今後も石神井高校ここにありと優勝も目指して切磋琢磨してくれることを期待しています。

東 士先生の白寿を祝う会

上野 二三一
(高18期／東先生の後任)

昨年11月サッカー部OB会により「東士先生の白寿を祝う会」を行いました。東士（あずまおさむ）先生は大正5年（1916年）埼玉県のお生まれで、昭和26年～52年（26年間）保体科教員として石神井に奉職されました。その間顧問として3度、昭和29年国体（北海道）、昭和43年高校総体（広島）、昭和45年関東大会（栃木・宇都宮）、サッカー部を東京都代表に導かれました。特に宇都宮関東大会では当時高校三冠の浦和南に決勝で敗れたものの石神井は準優勝に輝きました。

先生は50歳の時に脳腫瘍を患い、その摘出手術を受けてから後、教科は保健、部活動はサッカー部が専門となりました。サッカー部の練習は何時でも校舎の非常階段の上から見守り、主将を通してアドバイスを伝えるという指導スタイルで生徒の自主性を育み、都立の強豪校と言われるチームを育てたのです。

さて祝う会は、OB（50歳以上）約70名がリエラ東京（池袋）に集まり、関純会長（高26期・昭和49年卒）の開会挨拶、最長老、清水俊也さん（高



3期・昭26年卒）の乾杯発声に始まり、超OBが様々なエピソードを語るうち、自然に時代は東先生がいる青春時代にタイムスリップしていました。おわりに花束と背番号99の日本代表ユニフォームがプレゼントされました。そして先生からのことば「みんな、今日はどうもありがとう」には万感の思いが込められている気がしました。今年11月で東先生は100歳です。

なお、この会は田中藤雄君（高34期・昭57年卒）が事務を担当してくれました。この場をお借りして御礼を申し上げます。



寺島先生、百歳おめでとうございます

伊藤 裕徳

（高30期 3年G組：石神井最後の担任クラス）

2月6日（土）午前10時、たまプラザ駅に30期の石水、三浦、河野（いずれも旧姓）の女子三人と伊藤の四人は、恩師寺島政一先生の百歳をお祝いするために集合した。

駅から徒歩圏内にある設備とサービスの行き届いた施設に先生はお住まいになり、その日もかくしゃくとして笑顔でお迎え下さった。とても御年百歳とは思えぬ足取りには目を見張った。施設側のご厚意でご提供頂いたスペースに、内閣総理大臣から贈呈された賞状と銀杯は勿論のこと、皆様からのお祝いの品々に加え、些少なながらも私たちがお贈りした品やお花を飾り、先生を囲み歓談は始まった。

寺島先生は少々お耳が遠くはなっぺいらっしゃるものの、しっかりとした口調で、「教え子が大変多いので間違えては申し訳ないから、君たちが三年生の時に私が受け持った英語科の閻魔帳を用意した」と仰ると、緑色の細長いノートを我々の前に出された。高校時代の学業に散漫だった小生はその瞬間体が固まった。高校を卒業して約40年も経てから見せられた当時の閻魔帳……。当然、皆で中身は拝見したが、今は思い出せない。どちらでも良いと思える。確かなことは、寺島先生の私たち生徒に対する愛情がありがたく、今日までの長い間、全ての教え子の閻魔帳を保管なさっていると言うことに、目の奥が熱くなった。高三当時に閻魔様のよ

うに思っていたとも思えぬが、我々をお見送り下さった寺島先生は、仏様の様に柔和な笑顔であった。次回ご一緒に一献傾けることをお約束してお別れしたが、皆での訪問を楽しみにしたい。本当に良い半日だった。改めて寺島先生の益々のご長寿をお祈りいたします。

※寺島先生は、昭和16年3月～昭和53年3月 石神井中学～石神井高校で37年教壇に立ち、多くの卒業生を送り出してくださいました。



高校25期(昭和48年卒) 池上春夫先生ご夫妻をお迎えして、合同クラス会

豊田〈砂田〉貴美子（高25期 3年A組）

5月7日 土曜日、新宿京王プラザホテルにて、熊本から恩師、池上春夫先生（85才）奥様（82才）をお招きして 23年振りにクラス会を開催しました。池上先生ご自宅は、熊本地震の震源地から北へ10Kmの所。倒壊は免れたものの屋根瓦は落ち、その後も続く余震のため、室内外の復旧は進まず、一時は開催も危ぶまれました。しかし、そのような状況の中でも池上先生ご夫妻は気丈に上京を決意して下さり、クラス会は実現に至りました。当

日は、他クラスから参加9名あり総勢41名の賑やかな会となりました。卒業以来会うことがなかったクラスメートもいましたが、気持ちはあつと言う間に43年前にワープし懐かしさに溢れた時を過ごしました。2晩だけでしたが揺れの無い所で安心して先生ご夫妻に休んでいただけ、僅かながらのご恩返しができるように思いました。一日も早い熊本の復興を心からお祈りいたします。



黒菱山荘に三泊四日

野中 雄介（高13期）

3月29日～4月1日、山岳部関係12名が泊まってスキー、山荘生活を堪能しました。31日には山荘の管理人でもある対岳館のご主人であり、初代デモンストレーターの丸山庄司さん(82歳)がお泊

まりになり、翌日はOB連にスキーの指導までサービスしてくれ一同感激しました。



丸山さん（左）と山岳部OBが歓談



丸山さんを囲んで



丸山さんが先生のスキーレッスン風景

高校20期同期会報告(昭和47年卒)

勝見 鈴代 (高20期)

5月28日土曜日12時から丸の内アリスアクアガーデン東京にて20期同期会が開催されました。残



念ながら、参加人数は予想を少々下回り42名、根上先生、長島先生が出席してくださいました。先生のお話し、それぞれの近況報告、懐かしい映像や、写真等もあり和やかに時間が過ぎていきました。新しいクラス幹事を選出し、次回2018年5月最終土曜日卒業50周年記念同期会の開催を約束して、2次会へと流れていきました。



＝卒業式に出席して＝

2016年3月9日第68回卒業式に同窓会副会長として列席しました。

制服着用になって初めての卒業式、会場は凜とした空気の包まれて爽やかでした。制服についてはいろいろな意見があると思いますが、今までの卒業式に参列していた経験から、公式な場所での式典には、必要な気がしました。私服の先輩達の中で68期は初の制服世代。戸惑いもあったかと思いますが、明るく、爽やかな晴れ晴れとした笑顔が印象的でした。

3年間見守り続けた先生が、担任クラス生徒の

名前を一人ひとり読み上げていくなか、あるクラスの時でした、〇〇と名前が呼ばれ生徒は「ハイ!」と元気よく返事をしながら立ち上がり「先生、ありがとうございました!!」と笑顔でお礼を言ったのです。先生は、一瞬涙をこらえ、声を詰らせながら次の生徒の名前を読み続けました。

今年も、泣かされてしまいました。

石神井生として、立派な社会人に成長してとの願いを込めて、拍手で送りました。

(勝見)

第3回卒業生(昭和26年卒)同期会解散す!

同期会幹事世話人 佐藤 健



3回生の日の集い 平成27年(2015)11月7日
青山 あおしまにて

同窓会会員の諸兄姉、この写真をご覧あれ。昭和26年卒業の第3回生の面々である。いずれも、いいお顔をしていると思いませんか。人は80年以上の歳月を経れば、みんな立派な顔になるらしい。というより、地球上の約75億の人類の中で、最も天国に近い集団だから、自然に神々しい顔になるのかもしれない。

写真は昨年(2015年)11月7日、「3回生の日」と称する同期会で撮影したもの。年々参加者は減り、ついに19人になってしまった。遠隔地の人と病気や怪我の人は来たくても来られない。その上、半数近くが消息不明で安否確認もできない。連絡しても返事をくれない人もいる。

私は、出した通知の半数以上の参加者がなければ、その時が最後の会だと考えていた。その上、私自身にも問題があった。腰部脊柱管狭窄症で歩くことも容易ではないのである。そこで、皆さんのご同意を得て、今回が「最後の昼餐」となった次第。今後は、随時に有志を集めてやっていただきたいと願っている。

写真を見て思う。皆80年余の歳月いろいろな道を歩んで来た。喜びや楽しみより、苦勞と悲しみが多かったに違いない。世俗的な意味での成功、

不成功は問題でない。確かなことは「天地に顧みて」恥じることのない人生を送ったという自信である。神々に近い顔の所以(ゆえん)はここにある。

そして、物故した友を回想する。緑化事業で人生の半分以上の時間を砂漠で過ごしたT君、望ましい画像を得るため、手賀沼のほとりに一週間野宿した写真家のM君、生涯を中学の一教員で通し組合活動に専念したK君、戦後初の国産旅客機YS11のプロジェクトに参画したH君、歯科医師として死の直前まで地域医療に貢献したN君などなど。

それぞれ立派な人生であった。物故者を含めた我々が、今日までの日本を支えたなどと偉そうなことは言わないが、皆、生涯一業を通して来たように思うのである。これが母校出身者の特徴かどうかは分からない。もし、そうであれば素晴らしいことではないか。

幹事役を務めた私の力量と度量の不足から、もっと多数の友を誘い出すことができなかったことを、残念にも申し訳なくも思っている。再会を果たせなかった友も含め、すべての同期生諸君のご健勝を切に祈る。

(追記 この写真の前列左から4人目の石津吉朗君は本年2月に死去されました)

高校8期ご報告(昭和31年卒)

鬼沢 英雄



都立石神井高校エイト会
於 歎 2015. 10. 30

「喜寿」77歳から「傘寿」80歳の合間に差し掛かりました。まさか日本の長寿など予想も出来ない短命時代の、食料不足でガツガツしていた子供時代から見て夢のようです。

やや落ち着きが出てきた60歳の還暦の時、「エイト会」幹事が新宿の高層ビルのホテルだったか機転よろしく、還暦に達した者に赤色の紙製「かみしも」を、まだの者に白色の「かみしも」を着せて悦にいったたことがありました。懐かしく思い出されます。

時は流れ、さすがに丈夫だった身体もいつの間にかガタが来初め、病院の待合室でも顔馴染みが多くなりました。病気の説明にも慣れて来て、食事の後のお薬用の水の注文も堂にいったものです。この歳になると病気自慢、薬自慢が平気となり、息切れ、腰痛、立ち眩みも歳のせいと片付けられてしまいます。

同期仲間の近況は以下の通りですが例年の如く、ゴルフと「エイト会」の懇親会、それと囲碁の集い、が定期的に催されて元気に楽しんでおります。

何十年か続いたゴルフのハンデ戦「牛歩の会」も、昨年からペリアハンデ戦に模様替えしてスタートしました。年3回くらいの開催ですが、どうした訳か雨にたたられることが多く、無理せずにと「流会」となって実力を発揮するチャンスに恵まれません。

伝統の「エイト会」も平成27,10,30に東京ドーム隣りの中華料理店「歎」を貸し切りにて開催。36名の参加で昼食から宴が始まり、紹興酒の石膏をノミと金槌で壊して、荒っぽい酒宴がムードを高め、見下ろす都会の景色も珍しく次々と豪華な料理に堪能し宴が果てても余韻は続き、2次会の中野駅前で騒いだ後は保谷まで、とは後日に酒豪の報でした。

囲碁の集いは保谷駅前南口の3階「天空」にて毎月第3火曜が開催日。終われば隣りビル4階の居酒屋で懇親会。毎月のパターンです。年に2回は中野駅前北口に移って戦いの後の懇親会。私も囲碁は打ちませんが時折保谷の懇親会に参加した後、カラオケ店で、常磐線の終電を気にしながら昔の歌など唄ってきます。世話人は今井正武君。

また母校の総会の終了後には武蔵関駅前のそば屋「甚作」でのご苦労さん会も恒例にしており、ふるさと保谷の香り近して東京に出る楽しみとなっています。

秋口11月の初めには杉並公会堂の、新装の大ホールのステージで「校歌祭」に参加しています。母校の校歌は大変むずかしいけど、なんども歌っているうち覚えて来たようです。終わっての懇親会は若き吹奏楽団の在校生やOBさんとの交流会で活力をもらっています。

いつも「できるかなあ」で始まります

土橋 禮介 (高13期)



大学を出、35年以上印刷屋をしその後、アパートを何軒か経営し始めました。職人さんを知らなかったので、自分でメンテナンスをやり始めました。畳の部屋を板の間

キを塗りました。お蔭で足場パイプとの付き合いができました。昨年夏、このパイプでアパートの1階と2階のベランダを実験的に作ってみました。大成功でしたので自宅の屋根の上にベランダを作ってみました。うまくいきました。多分このやり方は真似する人が出てくると思います。



にし、壁紙を貼り、床揺れの直しなど空きが出るとやっています。やってみるとこの仕事、ほんとうにおもしろいのです、のめりこみました。トラックを買い、道具を揃え、それらが入りきれなくて倉庫を買い・・・(^^)、大工仕事はもともと好きでした。ペンキも塗ります。タイル貼りもしますがすべて自己流です。わからないことがあると最近ではネットです。6年ほど前、電気工事士の免許も取りました。ネットには書いてないものもあるのでHPを立ち上げ書き始めています。「れいすけ君の配色図鑑」です。そして毎日ネット内をぶらついて勉強

足場パイプは今まで「仮設工事用」の地位に不当に押しやられていました。切りそろえ色を塗りさえすれば化けます。なにより自分で納得できる頑丈な物をその日の内に組めるのがいいです。海沿いの地域では屋根の上への避難階段なども考えられます。



しています。手掘り井戸の掘り方は皆が掲載していますがまだ掘れないでいます。こんな私をみんなは変な奴だと言いますが、自分ではそうは思っていない。ごく普通の人だと思っています(^^)



商工会には入っていますが一切宣伝をしないように頼んであります。よその仕事まで手が廻りませんし所詮DIYの技量です(^^)

いつも「できるかなあ」で始まります。ゲームですね。この4月にはブロック3段23mのフェンスを生まれて初めてやってみました。計画し道具をそろえ手順を考えるのはとても楽しいです。いろいろノウハウも得られましたし友達もできました。これも自分のHPに追加する予定です。

お医者さんに痩せろと言われていたのでいくら食べても痩せられる野菜料理を自分なりに作りました。HPに載せておきます。2カ月で4kg痩せられました。必要な方は見てください(^^)-☆

(編集：13期Y.N生)

この3年ぐらいかけて自宅の外壁と屋根のペン

「石神井」と私

福宮 賢一
(高17期／明治大学 前学長)

この3月末日をもって、学長職の任期満了を迎え、それに合わせて明治大学を退職しました。教員として42年を過ごし、学生・院生の期間を加えると、51年間明治に籍を置いたことになります。



石神井生として過ごした、これに先立つ3年間は短いとはいえ、強く心に残る、貴重な時間でした。これまでも、また今でも「石神井」という響きを聞くと、懐かしさとともに暖かな想いがこみ上げてきます。

中学1年の春、父が病没し、母一人子独りとなった我が身にとって、石神井高校入学は、先の定まらない不安のなかで、ようやく一つの階段を上る事ができた、喜びでもありました。とはいえ、入学してもなお、自身の将来について、「なんとかなるさ」という楽観と「なんとでもなんとかする」という開き直りとが交錯する一方で、「なにになるか」さえも定めあぐねる迷いの中になりました。

しかし、こうした心情を越えて、高校生活を楽しく過ごすことができたのは、個性的な先生方のもと、自由な校風のなかで出会い、友情を結んだ友人たちの存在によるものです。

冬空に屹立する櫨の大木の姿に涙した星野(芳須)先生、校庭の広さを恨めしく思ったガントレの寺沢先生、古武士のような風貌で「気違い水を飲んではいかん」と修学旅行訓示をされた瘦身の石木先生ほか、思い出は書き尽くせません。旧制

高校の自由な雰囲気の中、先生方は、のんびり屋の私たちを懸命に刺激し、励ましてくださいました。

そして友人たちといえば、教室と上履き(中には教科書まで(どうして?))を失った校舎火災や、規約改正に取り組んだ生徒会活動、成績別クラス編成で深い水底に沈む想いをともにした級友、などなど、共通の出来事や経験を通じて仲間が生まれ、そのメンバーが3年B組で再び巡り会うこととなりました。そこでは、わいわいとにぎやかなHRが繰り返され、さらにいろいろな出来事を経て、一層友情を深めていく場が形づくられました。

それ以後、それぞれの人生の歩みとともに、近くなったり、遠くなったりしながらも、結ばれた心の「きずな」は、半世紀を越えた今も、変わらない交流をつないでいます。きらきらと輝く、澄んだ素直な眼で互いを見つめ、「人」を理解しようとしていた、そういう時期に出会い、瑞々しい魂のふれあいを経験したことが、その根源にあると確信します。

私たちは、その時、少しずつ大人になっていく入り口に立っていました。そこに再び戻ることは叶わないけれど、石神井で過ごした時間は、それぞれの心の中に鮮明に息づいています。あの時代をととてもいとおしく思います。いつでもよき理解者として心を添えてくれる友人たちの存在、これは石神井が生み、育ててくれた何物にも代え難い私の財産です。

在校生の皆さんへ。境遇や条件がどうあれ、そこが人生の立脚点であり、出発点です。ここからの未来を、ご自身の手で切り拓いてください。皆さんの努力に期待します。

注：文中、先生のお言葉は当時のまま引用しました。

バレーボール部創部70年の集い

バレーボール部創部70年OB・OG会を2015年11月1日青山のアイビーホールで開きました。バレーボール部には700名を越えるOB・OGがいますが、今回は35期までの383名中100名近い懐かしいメンバーが集まりました。あっという間に楽しい2時間は過ぎ、最後に校歌斉唱、「石神井ファイト！オー！」のエールを行い、再会を約して散会しました。

バレーボール部70年の歴史が今回のOB・OG会世話人代表 栗原勇さん(高16期)のご挨拶に凝縮されていますので、紹介します。

(高25期 荒川英彦)



皆さんこんにちわ！今回はやむなく35期迄に絞らせていただいていたのですが創部70年のOB・OG会ですよ！

さてこの70年を駆け足で振り返って見ましょう。

まずはお世話になった顧問先生方のお顔を思い浮かべて下さい。古くは歴史の石木先生、数学の田中不二夫先生、そして英語の田中貴美夫先生。

その後は斉藤先生、島田先生、永利先生、板谷先生、古山先生、浅井先生、白田先生と続きました。

そして70年の思い出と言えはやはり合宿でしょう。当初は布団持込で学校や先輩宅で宿泊、食事準備も先輩宅や学校の調理実習室にて皆で行いました。

本格的な形は昭和32年の藤沢合宿、翌年からは女子も参加しました。

昭和36年からは群馬県嬭恋村で11年間連続。その宿泊所のお嬢さんを18期生がお嫁に迎えると言う誠におめでたいエピソードも生まれました。

栗原 勇 (高16期)、荒川 英彦 (高25期)

その後は長野県牟礼、山梨県富士吉田、新潟県上越高田、長野県川上村、福島県猪苗代湖、茨城県鹿島などと色々変わりました。

さて運動部としての歴代の戦績ですが、嬉しい事に関東大会出場が二度あります。

最初は女子の19、20期中心のチーム。そして男子の24、25期中心のチームです。

その時の成績は、当大会でベスト4となる強豪と初めから当たってしまい残念にも共に初戦敗退でした。

しかし各校からの選抜選手で作られた4チームで構成する「東京支部選抜大会」には19期から25期の間に男女合わせて合計6名が選ばれたのは誇り高いことです。

都立から選抜されるのは難しく、後のオリンピック選手となった人達と同じチームを組んでプレーできたことは大変大きな経験になったと聞いております。

お陰でこの漢字3文字を「しゃくじい」と正しく読んでもらえるようになったのはこの頃です。

さて母校の現在は無念にも男子バレーボール部はありません。バレーをやる子がいないのです。

女子は立派に活動しております。

2015年現在2年生12名、そして1年生4名は全員中学での経験者である有望チームです。

スポーツ以外にも文化的活動として昭和44年には「日ソ親善バレーボール」と名打ったイベントを開催しました。旧ソ連の漁船員を石神井に招きバレーを楽しんでもらい、そして親睦を図る企画で新聞掲載もされました。

駆け足で振り返りましたが2時間程の楽しいひと時をどうぞお過ごし下さい。ご清聴ありがとうございました。



バスケットボール部OB・OG会



加藤 純子 (高30期/総務担当)

☆H27年度活動報告☆

◇8月14日(金)第5回 石神井・大泉現役交流戦& 合同OB・OG戦in代々木第2

◇11月28日(土)大忘年会

(於:青山一丁目「あおしま」)

◇3月20日(日)納会(石神井高校会場)/懇親会(大泉学園勤労福祉会館)

<その他 有志活動>

- ① ハイキング同好会:春の鎌倉お花見/現役北軽井沢合宿陣中見舞い/黒菱山荘8月6(土)・7(日)泊/鎌倉紅葉狩り/H28年も3月横浜お花見散策・実施済み
- ② バスケットの会(10期~18期有志):新年会
- ③ 豊田先生の喜寿お祝い(29期・30期有志)
- ④ 現役の試合応援

※新人戦は、男子は年越しをしました。

※イベントへの多くの皆様のご参加をお待ちしております。併せて、OB会費(3千円)と現役援助費(一口千円)のご協力もお願い致します。

☆H28年度活動予定☆

◇8月26日(金)第6回石神井・大泉現役交流戦(13時~)&合同OB・OG戦(16時~)in代々木第2

※来年度は改修工事の為代々木第2が使えません。代替え場所検討中ですが…最後かも…是非!

◇11月26日(土)大忘年会 18時~(「あおしま」)

◇3月第3週(土)予定 納会

<その他>

- ① 現役の試合応援:今後の夏季大会(女子)・新人戦・来春の関東大会予選・総体予選と、70・71期の応援よろしくお祈いします。
- ② ハイキング同好会
☆合宿陣中見舞い:7月24日(日)北軽井沢民宿
☆夏の山行…黒菱山荘8月6(土)・7(日)泊
☆紅葉狩り/スキー/お花見等
- ③ バスケットの会 懇親会9月・新年会1月予定

●OB会費&援助費の振込先、OB OG会の掲示板閲覧(現役情報も満載)のお問合せは、下記まで。

shakujiibasket@yahoo.co.jp

=番外編=

男子バスケットボール部旧顧問(S49~S54年)豊田一男先生<英語科>のライフワークのまとめとして「ジョークで楽しむ英文法再入門」(開拓社)が出版されたことを記念して、H27年10月3日(土)星陵会館にて、『豊田先生のご出版と喜寿をお祝いする会』が開かれました。出版関係者、初任校の県立静岡高校・都立東高校・都立石神井高校・都立日比谷高校・筑波大付属高校・筑波学院大学の教え子達、ご家族が集まる…という、非常に珍しい顔ぶれとなり、スピーチには各学校のカラー



奥様にバラの花束プレゼント

が出ていて、楽しい和やかな会となりました。

当日は、12月の喜寿祝いの先取りに加え、奥様のお誕生日…シャイな先生が奥様にバラの花束をプレゼント…とお祝いが重なりセレモニー満載でした。なお、豊田先生のご長女は、19期・旧顧問山下先生の光が丘高校での教え子(バスケット部)、お孫さん2人は石神井高校64期(彩音さん テニス部)、66期(詩織さん バスケット部)と、一家で石神井&バスケット部にご縁があります。忘年会には、お孫さんと一緒にご参加いただきました。



先生ご夫婦と石神井OGのお孫さん

会員各位

東京都立石神井高等学校同総会
会長 大久保利一

2016年度定期総会のご案内

2016年度の定期総会を下記により開催します。ご多用のところ恐縮ですが、万障繰り合わせてご出席くださるよう、ご案内申し上げます。なお、本総会終了後に例年通り簡素ながらも盛大な懇親会を行いますのでご参加くださるようお願いいたします。同期会、クラス会を開催されることもお勧めします。

2016年度定期総会 議案資料

1. 開催日時：2016年9月24日土曜日13時
2. 開催場所：母校4階視聴覚ホール(黒菱ホール)

議 題

- 第1号議案 2015年度事業報告
- 第2号議案 2015年度収支報告
- 第3号議案 2016年度事業計画
- 第4号議案 2016年度収支予算

報告事項

- 1 教育支援基金
- 2 その他

第1号議案 2015年度事業報告

- 4月7日 母校入学式に顧問、会長、副会長列席
教育支援基金監査
- 22日 役員会開催(きずな発行関係、決算関係)
- 26日 同窓会連絡協議会(同窓会の輪)開催
西、白鷗、竹早、松原、石神井、以上16校の同窓会が参加
学校への支援の仕方、予算について情報交換、更なる協力体制を確認
- 5月30日 体育祭視察
同窓会より応援団に寄贈した新しい胴着と袴を着て生徒達の元気に、澆刺とした演技に感動
- 6月10日 きずな編集会議開催
- 25日 役員会開催(きずな最終校正)
- 7月11日 三者協議会懇親会開催(学校、PTA、同窓会)
懇親を深めるとともに、更なる協力体制を確認
- 8月29日 役員会(文化祭参加、総会関係)
- 9月13日 母校文化祭に参加
黒菱山荘、白馬村を中心とした展示が好評を得る。
- 16日 役員会(総会関係)
- 26日 定期総会・懇親会開催

- 議案はすべて満場一致で承認。懇親会は約50名が参加。石吹OBと現役生徒によるコラボ演奏もあり和やかに開催された。
- 10月11日 同窓会連絡協議会(同窓会の輪)開催
豊多摩、井草、大泉、立川、新宿、戸山、武蔵丘、一商、国立、神代、文京、西、三鷹、白鷗、松原、石神井、以上16校の同窓会が参加
同窓会の生徒への関わりについて、情報交換、更なる協力体制を確認
- 10月19日 山寮協議会出席(白馬村にて)
- 28日 役員会(校歌祭参加関係)
- 11月3日 校歌祭参加
杉並公会堂で開催、石吹OBと現役生徒とともに約50名が参加
終了後懇親会を開催し世代を超えた交流を図った。
- 11月27日 三者協議会懇親会開催
卒業生の同窓会へ加入について協力を要請
- 12月24日 68期卒業生に同窓会への加入説明会を実施《2016年》
- 1月19日 役員会開催(今期反省と来期計画関係)
- 2月19日 きずな編集会議
- 3月9日 母校卒業式に会長、副会長が列席、会長が祝辞、卒業生全員にお祝いの紅白饅頭

と同窓会のしおりを贈呈
きずな編集会議開催
3月12日 OBのラグビー関係者が一堂に会しラグビー談義に花が咲いた

3月24日 石吹OB、OGと現役生徒との定期演奏会が保谷こもれびホールにて開催された
3月26日 新幹事（68期卒業生）歓迎会開催、世代を超えた交流会となった

第2号議案 2015年度収支報告

2015年度(平成27年度) 決算報告書
(2015年4月1日～2016年3月31日) (単位: 千円)

収入の部			
	2015年度予算	2015年度実績	備考
前期繰越金	8,741	8,741	
入会金	1,350	1,269	
年会費	4,000	3,338	含寄付金
雑収入	100	152	
合計	14,191	13,500	

支出の部			
	2015年度予算	2015年度実績	備考
総会費	100	108	
本部費	600	744	
広報費	2,200	2,205	主にきずな作成費
発送費	1,750	1,759	主にきずな発送費
行事費	300	339	
山荘費	500	550	
新会員費	200	139	榮太楼饅頭、パン等
予備費	50		
小計	5,700	5,844	
次期繰越金	8,491	7,656	
合計	14,191	13,500	

上記の通り、2015年度会計収支を決算して報告いたします。
会計 上野 俊彦

上記会計収支決算を監査した結果、適正であることを認めます。
2016年4月27日 会計監査 栗山 隆
会計監査 広瀬 由貴

平成27年度 黒菱山荘会計報告
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【収入の部】	金額	備考
助成金	500,000	同窓会助成金
PTA助成金	50,000	PTA助成金
宿泊費	425,000	宿泊費
受取利息	111	預金利息
計	975,111	
【支出の部】	金額	備考
交通費	60,000	乗車券、特急券、高速道路料、リフト代他
通信費	32,626	電話代、切手、はがき、郵送料
水道光熱費	100,914	水道代、プロパン代他
会議費	20,000	月例会議、総会懇親会、山寮協議会懇親会費
会費	5,000	山寮協議会年会費
備品費	2,500	什器備品費、銅釜等
修繕費	45,667	山荘設備修繕費用
雑費	229,168	汲取り代、ゴミ処理費、お土産、消耗品
借地料	150,000	借地料
山荘管理費	50,000	山荘管理費(対岳館)
修繕準備金	279,236	黒菱山荘修繕準備金へ(平成25年度一般会計残金)
計	975,111	

※修繕積立金残高 ¥1,254,134

第3号議案 2016年度事業計画

4月7日 母校入学式に会長、副会長が列席
17日 同窓会連絡協議会（同窓会の輪）開催
豊多摩、大泉、立川、新宿、戸山、武蔵丘、国立、神代、西、富士、小山台、白鷗、三商、松原、目黒（新規参加）、石神井、以上16校の同窓会が参加、同窓会の法人化について意見交換、更なる協力体制を確認
27日 役員会開催（きずな関係、決算関係）
5月28日 母校体育祭視察
6月初旬 きずな編集会議
6月中旬 三者協議会懇親会
6月下旬 役員会開催（きずな最終校正）
7月1日 広報誌「きずな」発行
中旬 役員会開催
8月下旬 教師のための黒菱山荘ツアー開催

9月10日 母校文化祭参加
役員会開催
24日 定時総会・懇親会開催
10月16日 同窓会連絡協議会（同窓会の輪）開催
23日 校歌祭参加（杉並公会堂）
11月上旬 三者協議会懇親会開催
下旬 卒業生への同窓会加入説明会開催
12月中旬 役員会、幹事会開催
《2017年》
1月中旬 きずな編集会議
3月 母校卒業式に会長、副会長が列席、会長祝辞、紅白饅頭、しおりを贈呈

日程は予定ですので、変更することがあります。
役員会、幹事会、きずな編集会議は随時必要に応じて開催します。

第4号議案 2016年度収支予算

2016年度(平成28年度) 予算案

収入の部

(単位: 千円)

支出の部

	2016年度予算	備考
前期繰越金	7,656	
入会金	1,300	
年会費	4,000	寄付金を含む
雑収入	100	
合計	13,056	

	2016年度予算	備考
総会費	100	
本部費	500	
広報費	2,000	
発送費	1,750	
行事費	300	校歌祭、文化祭等
山荘費	550	
新会員費	140	
予備費	50	
小計	5,390	
次期繰越金	7,666	
合計	13,056	

報告事項

教育支援基金運営状況および基金特別会計の収支について

2015年度教育支援基金事業報告

収入の部	
前年度からの繰越金	1,976,830円
収入合計	1,976,830円
支出の部	
ブリティッシュヒルズ講習補助	200,000円
応援団剣道衣、袴購入	421,470円
ラグビー部高校sevens参加費	50,000円
ラグビー部懸垂幕製作費	34,020円
支出合計	705,490円
収支残高	1,271,340円

2016年3月31日現在の支援基金明細	
修学旅行の講師お礼	50,000円
校庭防御ネット	420,000円
ブリティッシュヒルズ講習補助	930,000円
地球ステージ講習会補助	33,300円
サテライト講座講習補助	750,000円
部活支援(水泳部、生物部、美術部、ラグビー部)	369,020円
テント費1張	232,470円
イギリス留学支援	360,000円
グラウンド照明柱電球交換	306,000円
パソコン1台	100,000円
カウンセラー派遣補助	35,000円
応援団剣道衣、袴購入	421,470円
合計	4,007,260円

上記支援基金会計収支を監査した結果適正であることを認めます。

2016年4月7日 会計監査 栗山 隆

2016年3月31日現在の残高1,271,340円に関しましては、学校側と協議の上母校発展のため、大切に用途を決めて参りますとともに、2017年度の広報誌「きずな」にてご報告申し上げます。ご支援を頂きました皆様に心よりお礼申し上げます。

第7回YC&AC高校SEVENSラグビー大会が3月20日に開催され、石神井はAブロックで優勝、全体では準優勝に輝きました。大会終了後は、交流会が開かれ生徒たちにとって有意義な機会であったと思います。

ブリティッシュヒルズに参加した生徒達からも多数のお礼状が寄せられました。

♪今年の「東京校歌祭」は10月23日、 同期と一緒にいかがですか♪

日時：2016年10月23日（日）12時開場／12時30分開演（入場無料）

会場：杉並公会堂（荻窪駅から徒歩7分）

集合：14時40分 杉並公会堂 ロビー受付（石神井出演15：40）

問合せ：同窓会050-3736-9490

（発信番号通知を設定するか、050の前に186を付けてお掛けください）

懇親会：「クラブイン荻窪 プレジール」16時30分～

03-3393-9191／杉並区天沼3-9-3 ホテルクラブイン荻窪B1

<http://www.clubinn.jp/access.html>

懇親会費…2,000円／現役生と64～68期は無料

※時間変更などもありますので「webきずな」（同窓会HP）も併せてご覧ください。



出演前の
記念写真
(2015年)



現役生と共に懇親会

＜校歌祭に合わせて同期会をぜひ＞

校歌を思い切り斉唱してから同期会、あるいは同期会の後にステージで校歌熱唱。

いつもと違った同期会になること、請け合いです。同窓会も同期会を支援させていただきます。（下記参照）

事務局便り

■同窓会が同期会の開催を支援します。

同窓会の費用負担で、葉書・封書の宛名シールを幹事の方にお送りします（年1回まで）。開催費用についてもご相談ください。同窓会ホームページ「webきずな」で開催案内を掲載しますので、「webきずな」または「同窓会代表電話」でご連絡ください。

ちなみに、下記がことし卒業○十年目を迎える期です。同期会はいかがですか。

卒業10年目：高58期（平18卒）／20年目：高48期（平8年卒）／30年目：高38期（昭61卒）／40年目：高28期（昭51卒）／50年目：高18期（昭41卒）／60年目：高8期（昭31卒）／70年目：中学3期（昭21卒）

■会費納入と寄付金のお願い。

会費は年2,000円です。何年も払うのを忘れていても遑って払う必要はありません。今年からで大丈夫です。ご好意で2～3年遑って…は大歓迎です。寄付金の振込用紙も同封しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

■実名を名乗る詐欺電話にご注意ください！

卒業生名簿を悪用したと思われる詐欺が発生しています。卒業生の実名で「携帯を変えた」という電話の後に「現金を振込んで」と連絡が来たり、弁護士を名乗り「ご子息が会社に迷惑を掛けた」と偽り現金・通帳などを受け取る手口。こうした電話があったら、必ず本人（元の電話）に確認し110番してください。

住所変更など、同窓会へのご連絡は…

◆「ウェブきずな」 <http://www.shakujii-club.gr.jp/>

◆「同窓会代表電話」 050-3736-9490

発信番号通知を設定するか050の前に186を付けてお掛けください。

◆石神井高校同窓会事務局

〒177-0051 東京都練馬区関町北4-32-48 都立石神井高校気付



Web きずなへ

母校TOPIX 母校標語:「チーム石神井」で文武二道の両立を!

母校ラグビー部所属の日本代表選手が、女子セブンス国際大会で活躍!

※P5-6にラグビー関連記事

女子セブンス日本選抜に最年少で選出された母校ラグビー部バティヴァカロロ・アテザ・優海さん（2年）が、4月に香港で開催された「香港女子セブンス2016（Hong Kong Women's Rugby Sevens 2016）」大会第1日で活躍し、日本選抜がスリランカ・タイ・アルゼンチンに3連勝しました。



(試合中のアテザ選手)



(母校にて、33期北川洋氏と)



(同窓会教育支援基金から寄贈の懸垂幕)

石神井生に未来のJリーガー候補選手がいます



©F.C.TOKYO

石神井生3年生で“未来のJリーガー候補選手”として注目を集めているのが、生地慶充（おいじ よしあつ）君。

所属はFC東京のユースチームであるFC東京U-18。ポジションはMF。背番号7をつけてレギュラーを張り、現在U-18プレミアリーグEASTで活躍しています。（5月現在10チーム中、首位）

FC東京は、今年度から23歳以下（U-23）の選手でJ3（Jリーグ3部）にも参戦していますが、その中に生地君もU-18から登録され、現在まで6試合でスタメンに名を連ね、J3初得点も記録しました（J3では背番号42）。3月には、JリーグU-18選抜にも選出され、高校サッカー選抜との試合にも出場しました。

学業面でも優秀で、特進クラスに在籍しており、成績優秀者にいつも名前が挙がっています。性格も優しく、見た目はサッカーをガツガツやるようには全く見えませんが、ピッチに立つと人が変わったようになるとのこと。将来がとても楽しみです。

／1年から担任の廣瀬由貴先生（高39期・現母校教諭）談

国公立大・GMARCHの合格者が増加！おめでとう！

平成27年度卒業生(68期生) 進路状況		(四年制大学 合格者 延べ人数)		現役	浪人
		国公立大(茨城、東京工業、信州、首都大学東京)	早慶上理(早稲田、慶応義塾、上智、東京理科)		
四年制大学	194名	GMARCH(学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政)	38	11	
短期大学	9名	成成明武国文(成蹊、成城、明治学院、武蔵、国学院、文教)	38	4	
専門学校	35名	日東駒専(日本、東洋、駒澤、専修)	92	5	
就職	0名	体育系(順天堂、日本体育、東海)	17	0	
その他	33名	その他	293	19	
			合格者延べ人数合計		46
			484		

「きずな」第65号 発行人：大久保利一 編集人：橋本恒夫／編集協力：野中雄介 発行所：東京都立石神井高校同窓会 〒177-0051練馬区関町北4-32-48 都立石神井高校気付 電話050-3736-9490

ウェブきずな：<http://www.shakujii-club.gr.jp/>

印刷所：株式会社 文明社